

# 2013年度 法科大学院

## 第3回 既修者入学試験問題

### 3時限

## 民法・民事訴訟法・刑事訴訟法(論文集)

### 試験時間 120分

#### 注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. この問題冊子の1ページから問題が掲載されています。
3. 試験時間中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は手を挙げて監督に知らせてください。
4. 解答用紙には解答欄以外に記入欄がありますので、監督の指示に従ってそれぞれ正しく記入してください。
5. 解答は、必ず解答用紙の解答欄に記入してください。解答用紙の解答欄以外に記入された解答はすべて無効とします。解答用紙の裏面を使用する場合は「裏面に続く」と記載してください。
6. 解答用紙は各1枚しか配布しません。複数枚請求されてもお渡ししません。
7. 貸与した六法以外の参照は一切できません。
8. 試験問題の内容等について質問することはできません。
9. 問題冊子の余白等は適宜使用してかまいませんが、解答用紙の解答欄以外に記入された解答は無効とします。
10. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

## [民法]

つぎの文章を読んで、設問に答えなさい。

Aは、Bに8000万円を貸し付けるに際して、Bの所有する事務所とその敷地（時価総額7500万円）に抵当権の設定を受け、設定登記を経由した。その後、その建物内に数名の男が居座り、入口付近で大声を上げて騒ぐなどしていたため、不審に思ったAが調査したところ、Aの抵当権設定後、その事務所は敷地と共にBからCに賃貸され、さらにそれがDへと転貸されて、それぞれにつき賃借権の登記がなされていること、そして、建物を占有していた者たちは、金融業を営むDとその従業員であり、BはAから貸付けを受けた後にDからも高利で5000万円を借り受けていること、が判明した。

Aは、弁済期を過ぎてもBから貸付金の返済がなかったため、抵当権の実行を申し立てた。しかし、その土地・建物をDらが占有していることを嫌って買受希望者が現れず、競売手続は進行しなかった。

Aが抵当権の設定を受けた当時、Bの事務所の一室には、Bの趣味であるイタリア製アンティークの家具一式（キャビネット、デスク、置き時計、照明器具の4点で総額2500万円相当、防犯目的でボルト止めされている。以下、本件家具と略記。）が設置されていた。Aが抵当権実行競売申立をするにあたって念のため本件家具の所在をBに確認したところ、Bは、「Dが事務所の占有を始める少し前に、Dから強引に売却を促されてやむを得ず本件家具を1800万円で売却した。しかもDは、最近、本件家具をとり外してDの倉庫に搬入したようだ。」と返答した。

### 設 問 1

BC間の賃貸借契約が仮装されたものであることが判明した場合、Aは、Dらを排除するためにいかなる主張ができるか。

### 設 問 2

BC間、CD間の各契約の成立を争うことができない場合、Aは、Dらを排除するためにいかなる主張ができるか。

### 設 問 3

Aは、Dに対して、本件家具も抵当権の対象であると抗議したが、Dは、所有者Bから正当に買い受けたものであると主張した。Aは誰に対していかなる主張ができるか。

（解答は全て解答用紙に記入すること）

## [民事訴訟法]

つぎの文章を読んで設問に答えなさい。

Xは、Yの不法行為により、1000万円の損害が発生したと主張し、そのうち500万円の支払いを求める訴えを提起した。Yは、Xの主張を争い、請求棄却の判決を求めた。

裁判所は、因果関係が認められないとの理由で、Xの請求を棄却した。Xは、この判決確定後に残額500万円の支払いを求める訴えを提起した。

### 設 問

Xの請求が認められるかに関する訴訟上の問題点を論じなさい。

(解答は全て解答用紙に記入すること)

## [刑事訴訟法]

つぎの文章を読んで、設問に答えなさい。

弁護士Aは、旧知のB女から「夫CがD警察署の刑事に逮捕された。詐欺の疑いとか言われていたが、夫はその件は知人Eが仕切っていたことで自分はよく知らないと言いながら連行されて行ってしまった。助けてください。」と告げられ、ともかくCと会って話を聞いたうえで正式に弁護人を受任することにしようと考え、同日午後4時半ころD警察署に到着し、身分を名乗ったうえで立会人なしの接見を申し入れた。

これに対し同署の担当捜査官であるF警部補は、当日のCの取調べは終了したところで同日中の再取調べの予定はなかったが、Cが犯意についてあいまいな供述をしており、共犯者Eを詳細に取調べたうえで翌日Cを追及したいと考えていたので、今の時点で弁護士と面会させては捜査に支障を生ずると思い、「刑事訴訟法に定める捜査の必要があるので、明日の午後3時から30分間ということで接見してください。」と言ってA弁護士の当日の面会申し入れを断った。

### 設 問

F警部補のこの取扱いに問題はないか論じなさい。

(解答は全て解答用紙に記入すること)